



いじめゼロ子どもサミット2022

ふみだそう!
すべての人に
灯火を

小・中学生の実行委員が、さまざまな提案を行いました。

教科の力×いじめゼロ - 教室の学びをいじめゼロに -



- 書写の力で「書道パフォーマンス」(高松西高)
- 国語の力で「いじめゼロ宣言」の見直し
- 算数・数学の力で「いじめゼロクイズ」
- 社会の力で「『感じ、考え、行動しよう』ゼロシンポジウム」
- 総合、道徳の力で「劇作り」(わたなべなおこ氏指導)
- 音楽の力で「心つないで 2022」作詞(mimikaさん作曲)
- 社会、体育の力で「突撃インタビュー」
(地域の大人から応援メッセージをいただく)
- 図工・美術の力で「ポスターコンクール」、「讃岐提灯作り」
(香川大学サークル「TERASU」指導)

いじめを訴えやすいアンケートとは?

- 回数が多い(月1回程度)
- 訴えても皆の前で呼び出されない
- 訴えた後どうなるかはっきりしている
- 匿名で書ける タブレットで回答
- 提出先が複数
- 家で書ける

あなたの学校では、
どうですか?



心が動いたらスイッチON!

大ホールが、讃岐提灯の暖かい灯りで
いっぱいになりました。

いじめゼロの「ゼロ」をどう捉える?

子どもは「**いじめゼロ**」を目指す

教員は「**見逃しゼロ**」を目指す

- ・感度を上げ、認知は増やす。
- ・深刻な重大事態は減らす。
- ・認知件数は、認知して対応した件数。

社会は「**無関心ゼロ**」を目指す



企画から運営まで、さまざまな提案を行った
小・中学生実行委員のみなさん

いじめ問題について、
大人も一緒に考えよう!

11月は、「いじめゼロ強調
月間」です。保護者の方々、
地域の方々、企業の方々も
ぜひ、いじめの問題について
話し合う機会を作っていた
だきますようお願いします。



サミットの詳細はこちら▶